



## 目次

- 1ページ 新年度を迎えて
- 2ページ いきいき笑顔づくり
- 3・4ページ 行事報告
- 5ページ 事業所の取り組み
- 6ページ せんぷくコラム  
千代福社会後援会慰問  
招待行事
- 7ページ 地域行事・人事異動  
寄贈物品・編集後記 他

第62号 平成30年4月

発行：社会福祉法人 千代福社会

発行人：理事長 鈴木 邦夫

事務局：仙台市青葉区芋沢字畑前北62 電話 022(394)5206/FAX 022(394)5207

事業所：障害者支援施設 ますみ学園/おおぞら学園/清風園/あおば園、児童福祉施設 あっぷる保育園/あっぷる愛子保育園  
共同生活援助事業所 わーふ、障害者相談支援事業所 こねくと千代

# 新 年 度 を 迎 え て

社会福祉法人 千代福社会  
理事長 鈴木 邦夫

東日本大震災から早くも7年の歳月が流れ、日常の生活に追われ少しずつ記憶が薄れかけておりますが、3.11を迎え改めて被災された多くの人たちに思いをはせ、決して忘れてはならない思いを新たにいたしました。

さて、平成30年度がスタートいたしました。今年度は3年に一度の報酬改定年度でもあります。今回の改定率はプラス0.47%となっておりますが、事業ごと・区分ごとに詳細に改定率が異なっており、全体として「生活介護」が0.4%程度、「短期入所」が0.42%程度、「施設入所」が0.5%程度となっているようですが、それぞれの施設で利用されている利用者の方の区分によって、全体の改定率にはかなりひらきがあるものと思います。

昨年度も相変わらず職員不足が続きましたが、今年度も解消されないままスタートいたしました。採用がままならないので、せめて職員の定着率を高めていく努力が必要だと考えております。福祉施設職員特に入所施設の職員は、24時間365日常に緊張を強いられ、利用者のサービス・支援に

あたっており、ストレスを抱えながら3Kと言われる仕事を黙々とやっております。職員の待遇は勿論のこと、いかに働き甲斐のある職場を作り上げていくかが大きな課題だと思っております。政府は働き方改革を進めておりますが、福祉職員の働き方改革・待遇改革も進めてほしいものだと思います。その意味において今回の報酬改定は、あまりにも低すぎるのではないかと思います。

ともあれ、現実には立ち返って見ると、利用者の高齢化に伴う問題が目の前に迫ってきております。年々体力が衰え色んな病気を発症し、それも重症化しないと訴えることができず、通院した時は手遅れだったり、入院してもすぐに退院させられるが、施設のケアには限界があり入退院が頻繁に繰り返させる結果となり、職員は毎日通院に追われています。

利用者の負担も大変だろうと思いますし、ご家族の悩みでもある高齢化対策が喫緊の課題でもあります。今年度もこれらの課題に取り組んでいきたいと思っております。



# いきいき笑顔づくり

## ～“人が育つ”職場作りをめざして～

千代福社会では『“人が育つ”職場作りをめざして』という法人の基本的方向性のもと、平成21年に全職員から提出された704件のアンケートを集約し、『千代福社会求められる職務行動』として掲げました。平成22年度から朝礼時に唱和を実施し、各職員の意識と行動を高め、法人全体で成長していけるよう進めてきました。各事業所から年代・役職を問わず、職務行動推進委員として集まり、千代福社会全職員に職務行動23項目を浸透させるため、一人ひとりの意識や行動を振り返り、実践しながら“人が育つ”風土づくりをしています。事業所間の枠にとらわれず、推進委員が中心となって声を掛け合い、明るく、活気ある職場づくりを推進しています。

作戦会議中！



### 各事業所推進委員の 意気込み

#### あっぱる愛子保育園

子どもたちは、人と人との温かななかかわりの中ですくすく成長していきます。その基本となる子ども、保護者、職員同士のコミュニケーションを大切に、笑顔と感謝の気持ちを持ってこれからも仕事に励みます。

本郷麻利好

#### ますみ学園

利用者さんにはより良いサービスと、安心できる生活環境を提供すると共に、ご家族やお客様に対しても気持ちの良い対応を心掛けています。若い利用者さんが多いので、職員も若い気持ちを忘れず、活気ある職場にしています。

鈴木 靖彦

#### おおぞら学園

20代から70代の利用者まで幅広い年齢層の利用者さんが生活しており、障害特性もまた様々です。一人ひとりの個性を理解した上で、より良い支援を常に探究しながら、利用者さんが笑顔で生活できるよう日々支援しています。

加藤 郁子

#### あっぱる保育園

子ども達、職員一人ひとりが持っている力を十分に発揮でき、やりたいことができる環境を大切にしています。内面にある興味や関心、隠れた才能を発見し、その力がさらに向上して質の良いものとなり自信を持てるよう支えます。

高橋 裕

### 法人全体の目標

#### 『利用者・職員への 挨拶を励行します』

園児、利用者、職員への挨拶はもちろんですが、保護者、ご家族、業者の方や来客者にも明るく、温かい気持ちになってもらえるよう笑顔で心を込めた挨拶を励行します。

#### 清風園

職員一人ひとりが考え、自発的に行動できるよう職務行動の実践と共に、利用者さん・職員で取り組んでいる「朝掃除」、「いきいき清風づくり」として「一日一善」、余暇支援「エンジョイマイライフ」を通して、常に相手の立場に立ったより良いサービスを提供しています。

工藤 純也

#### 法人事務局

日々、業務だけではなくお互いに目配り、気配り、心配りを忘れないようにしています。「笑顔で活気のある職場」を合言葉に職員同士の一体感を大切にしながら、一人ひとりが責任を持って業務に取り組んでいます。

小林 康隆

#### わーぷ

毎月、世話人も含めて振り返りを実施し、お互いに意見を出し合い、改善に努めてきました。良い風土を築いていくために世話人、支援員が一体となり、今後必要な改善は積極的に取り組みます。

千葉 芳樹

#### あおば園

介護を必要とする利用者さんが多く、介護技術の向上と高齢者支援に対する専門知識が必要となっています。利用者さんの状況に応じて新しい知識や技術を身に付け、安心して生活できる環境づくりを進めています。

佐藤 栄里



## 家族旅行

### ますみ学園



みんな大好きなディズニーランド！  
夢のような時間を過ごしました。

ディズニーランド  
スカイツリー

### おおぞら学園

展望デッキ350mの高さ  
から眺める景色には驚き  
と感動がありました。



鉄道博物館  
スカイツリー

スパリゾートハワイアンズ  
アクアマリンふくしま（第1班）



家族とお揃いのハワイアンドレス“ムー  
ムー”でハワイの気分を味わいました。

### 清風園



舞妓の踊りや京料理を食べ、祇  
園の雰囲気に酔いしれました。

京都（第2班）

## 芋煮会

仙台風、山形風芋煮や秋刀魚  
など様々な料理をお腹いっぱい  
食べました。多くの家族に  
参加していただき、楽しい時  
間を過ごしました。

### あおば園



うみの杜水族館  
松島

巨大水槽の前では幻想的な  
世界に吸い込まれました。

### ますみ学園



スプリングバレー  
泉高原スキー場

利用者51名、家族28名

### おおぞら学園



おおぞら学園内

利用者53名、家族33名

### 清風園



清風園体育館

利用者45名、家族24名

### あおば園



あおば園内

利用者53名、家族17名



# 所の行事

## ハロウィン

清風園



仮装とゲームで盛り上がり、スペシャルメニューに舌鼓。皆で大いに楽しみました。

清風園内

## クリスマス会

ホテルでのクリスマス会を楽しみました。

ホテルメトロポリタン仙台

ますみ学園



ジャパングリーンの方が仮装してプレゼントを届けてくれました。

ホテルメトロポリタン仙台

清風園



美味しい食事とカラオケ、楽しいゲームに笑顔が溢れました。

仙台ロイヤルパークホテル

わーぷ



行事写真のプロジェクター上映やバンド演奏を観賞しました。

おおぞら学園

おおぞら学園 Xmas

La 楽リゾートホテル グリーングリーン

美味しい料理を食べ、温泉にも入って大満足のクリスマス会でした。



あおば園



職員による寸劇やカラオケを楽しみました。

仙台ロイヤルパークホテル

## 発表会

あっぱる保育園



ドキドキしたけど、たのしかった！

あっぱる愛子保育園



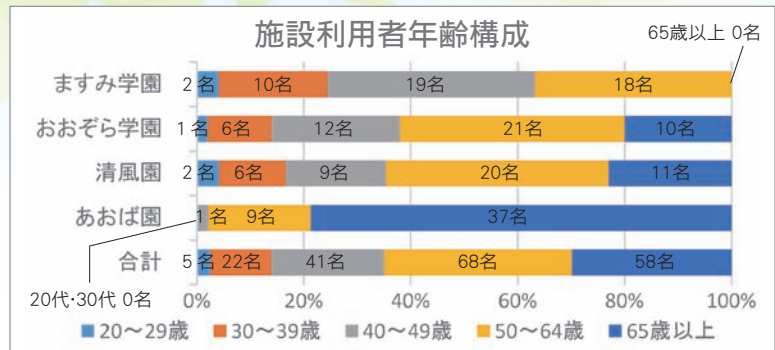
一年間の成長を劇やダンス等で見てもらいました。

# いま私たちにできること



## ～あおば園の高齢者対策～

現在、全国の入所施設の多くが利用者の高齢化に対する支援が課題となっています。千代福社会も「高齢者」と呼ばれる65歳以上の利用者が、4施設入所利用者194名のうち58名（平成30年3月31日現在）と、約3割を占めています。今回は“いま私たちにできること”としてあおば園における利用者の現状と取り組みについて報告をします。



	現 状	取 り 組 み
移動	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 常時車いす：16名</li> <li>● 杖などの歩行補助具使用者：5名</li> <li>● 筋力が低下している方が多く、転倒の危険性が高い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 理学療法士により、一人ひとりの状態に応じたりハビリテーション計画を作成し、手すりにつかまった立ち上がりや車いすの操作など、日常生活に即した運動を実施しています。</li> <li>● 利用者の身体状況に応じて、トイレや浴室への手すりの増設、居室入口の段差の解消、電動ベッドの導入、特別浴槽の改修など、環境の整備をしています。</li> </ul>
食事	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 食事全介助者：6名</li> <li>● 咀嚼・嚥下機能の低下により、誤嚥の危険性が高い。</li> <li>● 身体機能の低下により食器をうまく使えない方も多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 咀嚼、嚥下能力に応じた食事形態（普通食、刻み食、総刻み食、ミキサー食など）の提供をしています。</li> <li>● 医療機関で嚥下機能検査を受け、検査結果に応じた介助方法を医師・看護師等に聞き、食事支援を実施しています。</li> <li>● 身体機能に応じた食事補助具（スプーンや食器）を使用しています。</li> </ul>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 平成29年度の医療機関への通院は766件、土日祝日を除くと、毎日3件以上通院をしている計算になる。</li> <li>● 認知症や悪性腫瘍（ガン）などに罹患する利用者が増加している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 毎日の検温や定期的な血圧測定、体重測定だけでなく、顔色や歩き方などにも気を配っています。</li> <li>● 通院が難しい方は医療機関と連携をして往診による診察を受けています。</li> <li>● 内部研修では認知症、骨粗鬆症、脊柱管狭窄症などの病気について勉強をしています。</li> </ul>

### ご家族の声

#### 「全国知的障害者施設家族会連合会 第13回全国大会に参加して」

あおば園家族会 会長 大野眞知子

今年度は秋田での開催で、「新しい生活の場を語ろう！」をテーマに、知的障害者が暮らしやすい社会づくりについて検討会をしました。私も1日目に「終の住処として安心して託せる支援施設を求めて」というテーマで話題提供させていただきました。1日目は、主に家族からの話題提供、2日目は福祉事業者からの話題提供で、やはり障害者の重度・高齢化に対する話題が多くあげられました。

今、入所施設は施設解体ではなく、地域の中で地域と共に生きるという方向に変わってきております。障害者にとって生活の場は、施設です。入所施設は障害者にとって「家」なのです。障害が重くても、高齢になっても、安心して生活できる場を作ることが、急務となってきております。利用者も家族にとっても「終の住処」は今までの施設での生活であり、今住んでいるところで、支援員さんに見守られ、ぎりぎりまでみんなと仲良く暮らせる入所施設を望みます。





## 千代福社会後援会「お楽しみ演芸会」



歌 あかさかカラオケ愛好会 様



舞踊 藤乃豊華社中 様



歌謡ショー 小田島あつみ 様

平成 29 年 11 月 22 日（水）に千代福社会清風園体育館で千代福社会後援会主催による「お楽しみ演芸会」が開催されました。障害者支援施設 4 ヶ所とわーぷの利用者さん約 230 名が観覧しました。利用者さんも歌や踊りにあわせ手拍子をしたり、ステージの様子を写真に収めたりと、一緒に楽しみました。今年度も開催して頂きありがとうございました。



## 招待行事

○ポップサーカス仙台公演事務局 様より

「ポップサーカス仙台公演」

- ・参加者：ますみ学園 利用者52名 職員15名  
おおぞら学園 利用者32名 職員10名  
清風園 利用者24名 職員 7 名



○仙台市主催

「もりのみやこのふれあいコンサート2017」

- ・日 時：平成29年12月8日（金）
- ・参加者：ますみ学園 利用者 5 名 職員 1 名



## せんぷく コラム

### 「言葉の力」

仕事は職員の連携が必要不可欠であり、連携を取りやすくするには日頃からのコミュニケーションが大切です。先日参加した「職場のリーダーシップ研修」の中で「言葉の力」の講義がとても勉強になりました。

人が一日に一番多く会話を交わすのは、「自分」であるとの話には驚きと共に得心する思いでした。「～しなくちゃ」「～したい」等の自分との会話を 1 日に 10 万回はしているの、人と上手にコミュニケーションを取るコツは、まず、自分と仲良く会話をして自分が元気でいられるためのメンタルコントロールをしていく必要があるということです。「疲れたな」「嫌だな」等、ついつい発してしまうマイナスな言葉は精神的にも体力的にも力が入らなくなってしまいます。逆にプラスの言葉はパワーに変

えることができ、パワーが出る言葉を科学的に測定した結果は 1 位「ありがとう」 2 位「ついてる」 3 位「ゆかい」であり、「ありがとう」はイライラしない、させない力もあるそうです。また、人と会話をする時に人間は表情でも感じ方が変わります。例えば「ばかやろう」というマイナスの言葉であっても笑顔だと嫌に感じない、「ありがとう」という言葉に笑顔があると更にプラスの力になります。

千代福社会では「求められる職務行動」で掲げていますが、「職場の一体感」を大切にしています。コミュニケーションの方法はそれぞれの性格によっても変わりますが、相手に対してプラスの言葉を掛ける事はちょっとした意識で実践できることであり、職場内だけではなく支援する上でもプラスになることですので、プラスの言葉を使うよう常に心掛けていきたいと思います。

広報委員 ますみ学園 荻谷



## 愛子駅 新駅舎オープニングセレモニー



主催：JR 東日本

日時：平成 30 年 1 月 20 日（土）

愛子駅新駅舎オープニングセレモニーにあっぶる愛子保育園の子ども達が“荒馬”を披露しました。大勢の観客に見守られながら、和太鼓や笛のリズムに合わせて体を大きく振って踊る子ども達の姿は堂々としてキラキラ輝いていました。



表紙の写真は“一日駅長”に就任した園児です。  
二人のコメント  
「ちょっと恥ずかしかったけど、楽しかった！」

鎌田泰生さん（写真 左）  
菅野優波さん（写真 右）



## 人事異動

### ○昇格

統括支援課長	越前谷 健(ますみ学園)
所 長	佐藤 栄里(わーぷ)
統括支援主任	工藤 純也(清風園)
支 援 主 任	佐藤 博幸(あおば園)
支 援 副 主 任	福田 靖史(あおば園)
〃	千田由紀子(おおぞら学園)

### ○新規採用

おおぞら学園	支 援 員	伊藤菜津美
	〃	佐々木まどか
あおば園	調 理 員	遠藤 正光
	支 援 員	高橋 唯
	〃	須田 直樹
	〃	高内 大稀
あっぶる保育園	園 長	斎藤 春美
	保 育 士	遠藤 瞳
	〃	加納 美空
	〃	後藤末乃莉
	〃	吉岡 葵
	臨時保育士	千田志穂美
	パート保育士	島貫早紀子
あっぶる愛子保育園	保 育 士	高橋 優海

### ○正規職員登用

ますみ学園	支 援 員	佐藤 裕希
-------	-------	-------

## 法人旗が新しくなりました

平成 2 年 3 月の体育館落成式から使用してきた法人旗が、新しくなりました。



## 寄贈ありがとうございます

★仙台環境開発株式会社 様  
クリスマスケーキ(40ホール)  
ますみ学園・おおぞら学園・清風園・あおば園

★株式会社ジャパנקリーン 様  
クリスマスプレゼント(毛布50枚) ますみ学園

★ピーエスリサイクル東北株式会社 様  
クリスマスケーキ(10ホール) わーぷ

## 編集後記

桜の花のたよりが聞かれる季節となりましたが、皆様いかがお過ごしでしょうか。今号は各事業所の行事報告とともに地域行事として開催された愛子駅新駅舎オープニングセレモニーに出席した様子を掲載させて頂きました。

今年度も、皆さんに楽しく読んで頂ける「せんぷく」をお届けしていきます。